

～サクラビア便り～



お正月などお祝いのおときに使われる丸ばしは、「祝いばし」や「両口ばし」とも呼ばれています。両端が細くなっているのは、片方を年神様、もう片方を人が使うことを意味しています。しなやかで折れる事が無く縁起が良い事から、柳の木で作られており、白木の香りは、悪い物を追い払ってくれると信じられています。お正月の3日間は、使う人の名前を書いた水引のはし袋に入れておきます。サクラビアでは利用者様のおせち料理に添えて、祝いばしをご用意いたしました。



2017 年 12 月便

【冬至】



一年の中で最も昼が短く夜が長い日が冬至です。冬至の日にカボチャを食べたりユズ湯に入ったりすると、風邪を引きにくくなると言われています。サクラビアではゆず湯にゆっくりと入って頂き、おやつにカボチャゼンざいを召し上がって頂きました。寒くなるこれからの時期、身体を温めて風邪に負けない強い体に変身～ ^m^

【クリスマス会】



赤・白・緑のカラーがとてもきれいに映えるクリスマスシーズンです。クリスマスカラーを使って明るい雰囲気を出すと、なんだか元気が出てきます。今年のクリスマス会はサンドイッチとスイーツのビュッフェをご用意いたしました。ご自分で好きなものを選ぶ楽しさに、ワクワク！皆様いつもより多く召し上がられていました。また、職員の余興やじゃんけん大会など、楽しいクリスマス会を過ごされました。

年末が近づき、もうすぐ今年も終わろうとしています。昔は「すす払い」といい、すすを払って家の中を清めて、正月を迎える準備をしていたそうです。一年のほこりやゴミを片付け、大掃除をして気持ち良く新年を迎えたいですね。サクラビアでも大掃除が始まりました。

